

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大	事業	051	林業事務事業	中	事業	01	林業事務事業		
小	事業	01	林業事務事業	02	憩いの里山管理事業	他		事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
市の林業振興を推進するために必要な経常経費及び各種林業関連団体への負担金事業の実施により、林業全般にわたり振興を図る。	
◆林業事務事業	
【事業の概要】	
○旅費 ・特別旅費	51 千円
○需用費 ・消耗品費	25 千円
○負担金 ・福井県山林協会（他5団体）負担金	144 千円
○補助金 ・森林組合労務退職金共済事業費補助金	251 千円
◆憩いの里山管理事業	
【事業の概要】	
○使用料及び賃借料 ・土地借上料（2件 2,491㎡+60㎡、味岡山関係）	138 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	609	1,720	799	△ 1,111
	人件費	1,538	1,121	1,007	416
	総事業費	2,147	2,841	1,806	△ 695
人員	正職員	0.23 人	0.16 人	0.15 人	0.07 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.23 人	0.16 人	0.15 人	0.07 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,147	2,841	1,806	△ 695

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	伐採届出件数	件	目標	20	20	20	20	20
			実績		21	11	23	12
			達成率(%)	0.0	105.0	55.0	115.0	60.0
指標の説明		地域森林計画対象森林における伐採行為実施者からの届出数						
指標	森林経営計画数	件	目標	4	4	4	4	4
			実績		4	4	4	4
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		森林経営計画の有効件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	概ね目標を達成しています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	各種林業関連団体への負担金を通して地元及び各関係機関等と一層の連携を図ることができました。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	林業事務事業	継続	各種林業関連団体への負担金を通して市の林業振興を推進します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大事業	051	林業事務事業			中事業	06	緑の少年団活動支援事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱、緑の募金事業実施要綱ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 緑の少年団の活動に対し、県緑化推進委員会に併せて市の補助を行うことで、緑化に対する意識の高揚を図る。	
【事業の概要】 ○補助金 240 千円 ・緑の少年団活動支援事業補助金 @60,000円×4団体 事業実施主体：雄島緑の少年団（団員 34名） 長畝緑の少年団（団員 50名） 大石緑の少年団（団員 47名） 兵庫緑の少年団（団員 76名） 事業内容 学習・体験活動、奉仕活動、レクリエーション活動	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	240	240	0
	人件費	669	841	△ 172
	総事業費	909	1,081	△ 172
人員	正職員	0.10 人	0.12 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.12 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	その他特定財源	160	160	0
	一般財源	749	921	△ 172

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	緑の少年団活動数	団体	目標	4	4	4	4	4
			実績		4	4	4	4
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明	市内で活動している少年団の数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	継続的な緑化活動の実施により、団員の緑化に対する意識が醸成されています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	少年団が緑化や自然に関する活動を行うことにより、自然への愛着を持ち、緑や森林の働きを理解することができました。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	緑の少年団活動支援事業	継続	緑の少年団の活動を通して、団員の緑化に対する意識の高揚を図ります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大	事業	001	松くい虫防除事業	中	事業	01	松くい虫防除事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	森林病虫害等防除法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業、松くい虫被害特別対策事業			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	19,235	15,296	22,191	3,939
	人件費	2,407	1,682	2,685	725
	総事業費	21,642	16,978	24,876	4,664
人員	正職員	0.36 人	0.24 人	0.40 人	0.12 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.36 人	0.24 人	0.40 人	0.12 人
財源内訳	国県支出金	8,035	6,549	8,915	1,486
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	13,607	10,429	15,961	3,178

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 国定公園内の景観を構成し、潮害や風害を防ぐなど市民の生活環境に重要な役割を果たしている松林を松くい虫被害から守るため、適期に適正な防除や駆除を行うことにより松くい虫被害の蔓延防止に努め、松林の保全対策を図る。

【事業の概要】

- 需用費 ・ 消耗品費 14 千円
- 委託料 19,196 千円
- ・ 松くい虫被害総合対策、特別対策事業委託料
- 事業実施場所：三国町安島、崎 他 (単位：千円)

事業（委託）名	事業内容	事業費（千円）	財源内訳（千円）		
			国	県	市
被害調査（県単）	787ha（三国・丸岡）	400		173	227
地上散布（県単）	10.0ha	950		695	255
地上散布（市単）	10.0ha	950			950
特別伐倒駆除（県単）	90㎡、240本	2,689		1,496	1,193
特別伐倒駆除（市単）	55㎡、48本	1,841			1,841
樹幹注入（国庫）	グリーンガード1,847本	5,368	2,684	1,342	1,342
樹幹注入（県単）	グリーンガード1,255本	3,441		1,645	1,796
樹幹注入（市単）	グリーンガード 154本	486			486
倒木処理外	一式	3,071			3,071
計		19,196	2,684	5,351	11,161

- 原材料費 25 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	地上散布	ha	目標	20	20	20	20	20
			実績		20	20	20	20
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		地上散布実施面積						
指標	樹幹注入対象区域面積	ha	目標	2.3	3.6	2.3	1.9	3.3
			実績		3.6	2.3	1.9	3.3
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		樹幹注入対象区域面積						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								

指標に基づく評価
 計画区域内において、地上散布や特別伐倒駆除、樹幹注入を併用した総合的な防除を展開し、被害を抑制しています。

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	事業実施により松くい虫による被害を抑制することはできました。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	松くい虫防除事業	継続	景観・生活環境に対して重要な役割を果たしている松林について防除事業（地上散布・特別伐倒駆除・樹幹注入）の実施により継続して松くい虫による被害を抑制していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	今後も、被害の完全防除を実現するため継続していく必要があります。
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大	事業	001	松くい虫防除事業	中	事業	06	松林健全化促進事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	1,157	856	549	301
	人件費	602	1,121	1,343	△ 519
	総事業費	1,759	1,977	1,892	△ 218
人員	正職員	0.09 人	0.16 人	0.20 人	△ 0.07 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.09 人	0.16 人	0.20 人	△ 0.07 人
財源内訳	国県支出金	645	360	360	285
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,114	1,617	1,532	△ 503

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
松くい虫被害により森林資源の減少した松林等に、抵抗性マツの植栽等を実施し、健全な松林の維持再生を図る。

【事業の概要】
○委託料 1,157 千円
・松林健全化促進事業委託料 860千円
事業実施場所：三国町安島・黒目 地係

(単位：千円)

事業（委託）名	事業内容	事業費	財源内訳		
			国(1/2)	県(1/4)	市(1/4)
松林健全化促進事業委託料	抵抗性クロマツ植栽 N=265本	860	430	215	215

・松林維持管理業務委託料 297千円
事業実施場所：三国町安島 地係（東尋坊）
事業内容：松林内下草刈り A=6,100㎡

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	健全化実施面積	m2	目標	2,800	2,800	2,500	375	357
			実績		4,950	2,751	375	357
			達成率(%)	0.0	176.8	110.0	100.0	100.0
指標の説明		抵抗性クロマツの植栽や地表腐食土の除去等の実施面積						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	抵抗性クロマツを植栽することにより、減少傾向にある松林の維持を図ることができました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			植栽木は自然木よりも強風の影響を受けやすいため、寄せ植えや添え木を行っています。しかし、一部では、強風による倒伏、塩害による枯損被害がみられるため、強風下における確実な植栽方法について検討する必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績				

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください		
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容	
	松林健全化促進事業	継続	健全化促進事業（抵抗性クロマツの植栽・地表腐食土の除去）の実施により松林の健全化を促進していきます。	

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業			中事業	01	林道維持管理事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		県農林水産部産材活用課・森づくり課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市森林整備計画		

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	32,521	6,425	3,165	26,096
	人件費	2,340	1,752	1,343	588
	総事業費	34,861	8,177	4,508	26,684
人員	正職員	0.35 人	0.25 人	0.20 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.35 人	0.25 人	0.20 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	20,320	0	0	20,320
	その他特定財源	2,600	0	0	2,600
	一般財源	11,941	8,177	4,508	3,764

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内の作業を容易にするため、林道の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】

○委託料 10,173 千円

- 林道橋梁点検業務委託費 7,520千円
点検箇所：林道7路線27橋梁
- 災害復旧測量設計業務委託料 2,653千円
路線名：林道河内・南谷線

○工事請負費 22,348 千円

- 林道災害復旧工事費 19,448千円
(前年度繰越分) 林道剱ヶ岳線災害復旧工事 6,848千円
(当該年度分) 林道河内・南谷線災害復旧工事 12,600千円
(翌年度繰越) 林道河内・南谷線災害復旧工事 19,238千円
- 一般林道補修工事費 2,900千円

林道名	事業費(千円)	補修内容
曾谷豊原線	485	土砂・落石除去、路面補修
剱ヶ岳線	1,659	土砂・落石除去、路面補修
その他路線	756	土砂・落石除去、倒木処理
合計	2,900	

林道数 29 路線 総延長 55,530 m (平成30年度末現在)

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	林道維持補修費	千円	目標	2,900	2,900	4,319	3,500	3,200
			実績		2,900	4,319	3,007	2,595
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	85.9	81.1
指標の説明		林道の維持補修に係る費用						
指標	林道補修工事件数	件	目標	10	10	10	10	10
			実績		11	13	12	10
			達成率(%)	0.0	110.0	130.0	120.0	100.0
指標の説明		林道の維持補修に係る工事件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	落石や融雪による路面洗掘等の異常が認められる林道について、工事により修繕しています。工事件数による目標値を達成し、適切な林道の管理を実施しています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			走行に支障のある林道について、適切な補修等により、安全性を確保し、森林の適正な管理や効率的な林業経営に資することができました。
これまでの見直しや改善等の実績				

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください		
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容	
	林道維持管理事業	継続	落石や融雪による路面洗掘等の異常が認められる林道について、適切な林道の管理を実施していきます。	

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大	事業	051	山林維持管理事業	中	事業	06	県単林道事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		県農林水産部産材活用課・森づくり課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 林業従事者や利用者の利便性の向上と安全性の確保を図るため、県補助事業を活用しながら林道改良工事等を行う。

【事業の概要】
 ○工事請負費 13,000 千円

- 林道剣ヶ岳線舗装工事 6,660千円
 [工事概要] 路面改良工（As舗装） 延長 L=386m 面積 A=1930.0㎡
- 林道禅師谷線改良工事 4,000千円
 [工事概要] 路面改良工（Co舗装） 延長 L=156m 面積 A=390.0㎡
- 林道木波線復旧工事 1,908千円
 [工事概要] 災害復旧工（かご工、崩土除去） 延長 L=93m
- 林道孫谷線復旧工事 270千円
 [工事概要] 災害復旧工（かご工） 延長 L=4m
- 林道岩ヶ谷線復旧工事 162千円
 [工事概要] 災害復旧工（かご工） 延長 L=4m

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	13,000	9,790	7,659	3,210
	人件費	2,006	1,752	1,343	254
	総事業費	15,006	11,542	9,002	3,464
人員	正職員	0.30 人	0.25 人	0.20 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.25 人	0.20 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	6,500	4,895	3,800	1,605
	その他特定財源	5,300	4,800	3,800	500
	一般財源	3,206	1,847	1,402	1,359

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	林道改良工事件数	件	目標	2	2	2	2	2
			実績		5	2	2	2
			達成率(%)	0.0	250.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		林道改良・復旧工事発注件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	大雨等により異常が頻発する路線について、計画的に改良工事を実施し、目標を達成しています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	風雨等により路盤が洗掘され通行に支障が生じている林道の改良・復旧工事を施工し、林道利用者の利便性の向上と安全性を確保することができました。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	県単林道事業	継続	林道の利用について、利便性向上と安全性確保を図るため、改良工事を実施していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業			中事業	11	森林整備事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	有	森林法				
根拠例規	有	林業水産振興課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	有	坂井市森林整備計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 森林の面的整備及び振興施設整備事業に要する経費を補助することにより、森林の有する多面的機能を発揮させ、適切な森林整備を推進する。

【事業の概要】
 ○補助金
 ・森林整備事業費補助金 6,000 千円
 事業実施主体：坂井森林組合
 事業内容 (単位：千円)

区分	種別	実績	事業費	補助率	補助金額
面的整備	雪起し	3.20ha	1,376	3%	41
	下刈り	3.32ha	1,171	3%	35
	除伐	3.38ha	1,034	6%	62
	枝打ち	11.57ha	6,627	6%	398
	間伐	116.0ha	139,661	3%	3,996
振興施設整備	作業路	27,894m	132,814	1.1%	1,468
			計		6,000

補助率 ①市（上記区分による補助率）
 ②国県（国1/2、県3/10） 直接、事業者へ交付

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	6,000	6,000	6,000	0
	人件費	1,538	981	1,007	557
	総事業費	7,538	6,981	7,007	557
人員	正職員	0.23 人	0.14 人	0.15 人	0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.23 人	0.14 人	0.15 人	0.09 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	7,538	6,981	7,007	557

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	補助件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		森林整備事業費補助金補助件数						
指標	間伐実施面積	ha	目標	80	80	80	80	80
			実績		116	121	75	80
		達成率(%)	0.0	145.0	151.3	93.8	100.0	
指標の説明		間伐実施面積						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	森林整備について確実に目標を達成し、適切な森林整備を推進しているため、森林の有する多面的機能が発揮されていると考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくために、間伐等の面的整備と作業路の整備を推進しました。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	森林整備事業	継続	森林の有する多面的機能の発揮を図り、適切な森林整備を推進するためにも今後も継続していく必要があります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	101	美しい森林景観再生事業			中事業	01	美しい森林景観再生事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有	美しい森林景観再生事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 自然災害や森林病害虫被害等により機能が低下している森林の機能回復のため、花木などの広葉樹等の植栽や景観を阻害する不用木の除去を行い、美しい森林景観の再生を図る。

【事業の概要】
 ○委託料
 ・美しい森林景観再生事業委託料 1,300 千円
 事業実施場所：坂井市三国町安島 地係

(単位：千円)

事業（委託）名	事業内容	事業費	財源内訳	
			県(9/10)	市(1/10)
美しい森林景観再生事業	植栽面積 1.0ha ・抵抗性クロマツ 170本 ・トベラ 107本 ・シャリンバイ 90本 ・ウバメガシ 40本	1,300	1,170	130

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	1,300	1,000	1,000	300
	人件費	869	1,261	1,343	△ 392
	総事業費	2,169	2,261	2,343	△ 92
人員	正職員	0.13 人	0.18 人	0.20 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.13 人	0.18 人	0.20 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	1,170	900	900	270
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	999	1,361	1,443	△ 362

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	植栽面積	ha	目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			実績		1.0	1.0	1.0	1.0
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明 美しい森林景観再生事業に係る費用							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	毎年目標を着実に達成することができ、以前の美しい森林景観を取り戻しつつあります。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	松くい虫の被害等により景観が損なわれた国定公園に植樹を行ったことで、以前の美しい景観を取り戻しつつあります。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	美しい森林景観再生事業	継続	松くい虫の被害により松林が減少しているため、以前の景観を取り戻すために、抵抗性クロマツを中心とした植栽等を行っていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	201	森林・山村多面的機能発揮対策事業			中事業	01	森林・山村多面的機能発揮対策事業		
小事業	01	森林・山村多面的機能発揮対策事業					他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
森林所有者や地域住民が協力して、森林の有する多面的機能を発揮させるための保全活動や山村地域の活性化に資する取組みに対し支援を行う。

【事業の概要】

○需要費 70 千円
・消耗品費

○負担金 910 千円
・福井県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会負担金
負担割合：国75%、県12.5%、市12.5%（活動項目により割合変動）
(単位：千円)

組織名	地区名	交付金額	うち市負担金額
味岡山・新宮整備会	丸岡町八ヶ郷	356	44
篠岡里山整備会	丸岡町篠岡	776	88
下久米田里山保全会	丸岡町下久米田	1,470	183
緑の丘保全の会	三国町緑ヶ丘	1,871	126
女形谷里山を守る会	丸岡町女形谷	1,398	171
川上森林保全会	丸岡町川上	793	94
竹田山里会	丸岡町上竹田	1,595	164
山崎三ヶ里山保全会	丸岡町山崎三ヶ	320	40
合計（8組織）		8,579	910

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	980	854	126
	人件費	2,540	1,752	789
	総事業費	3,520	2,606	915
人員	正職員	0.38 人	0.25 人	0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.38 人	0.25 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金	70	50	20
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,450	2,556	895

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	活動組織	団体	目標	8	8	8	8	6
			実績		8	8	9	6
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	112.5	100.0
指標	指標の説明							
指標	活動組織が実施する事業対象面積	ha	目標	25	36	33	26	16
			実績		36	33	26	16
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	各活動組織において地域活動として、雑木の除伐や下刈を実施しています。また、森林における体験活動の実施によって、地域活動の広がりや、森林が有する多面的機能の必要性を共有できている。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性

※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください

方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
		森林・山村多面的機能発揮対策事業	継続

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	活動組織の山林に対する意識の高揚やコミュニティとしての強化を図り、継続した活動が行えるよう支援していきます。
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業総務費
大	事業	051	水産業事業	中	事業	01	水産業事務事業		
小	事業	01	水産業事務事業					他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		福井県漁港漁場協会規約		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 漁港漁場施設の整備強化及び会員共同の福利厚生を図り、漁村経済の発展に寄与することを目的とした福井県漁港漁場協会の運営経費を負担することにより、坂井市漁村地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○負担金 174千円 ・県漁港漁場協会負担金 (法令外負担金) 漁港分基本割 @10千円×3漁港=30千円 漁港分事業割 116千円 栽培分均等割 市町 28千円</p>
--

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	174	131	104	43
	人件費	535	1,261	1,208	△ 726
	総事業費	709	1,392	1,312	△ 683
人員	正職員	0.08 人	0.18 人	0.18 人	△ 0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.08 人	0.18 人	0.18 人	△ 0.10 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	709	1,392	1,312	△ 683

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	福井県漁港漁場協会	目標	1	1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		福井県漁港漁場協会に協賛することで成果が上がる						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		福井県及び他市町が参加しており、漁業、水産業事業促進を図るうえで必要と思われます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	福井県漁港漁場協会に係る負担金。栽培漁業推進・全国の先進事例の案内など有効活用できています。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	水産業事務事業	継続	福井県及び他市町と連携を取りながら、漁場整備や藻場の整備、放流等の栽培漁業に取り組み、水産業の活性化を図ります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	001	漁港漁場整備事業	中	事業	01	漁港施設管理事業		
小	事業	01	漁港施設管理事業					他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	漁港漁場整備法			
根拠例規	有	坂井市漁港管理条例			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 漁港施設の安全管理と有効活用を図り、漁業者の作業効率の向上と生産性の拡大を目指す。	220 千円
【事業の概要】 ○需用費 ・修繕料（安島漁港・崎漁港 電灯ポール建替え修繕）	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	220	2,164	30,443	△ 1,944
	人件費	1,203	1,612	1,208	△ 408
	総事業費	1,423	3,776	31,651	△ 2,352
人員	正職員	0.18 人	0.23 人	0.18 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.23 人	0.18 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	1,015	11,900	△ 1,015
	その他特定財源	0	0	6,480	0
	一般財源	1,423	2,761	13,271	△ 1,337

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	管理する漁港数	漁港	目標	3	3	3	3	3
			実績		3	3	3	3
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
独自指標	指標の説明 市の管理する漁港の数							
指標	事故数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
独自指標	指標の説明 維持管理上の瑕疵による事故発生件数が少ないことで成果が上がる							
指標	利用者数	名	目標	82	85	89	87	96
			実績		87	89	87	96
		達成率(%)	0.0	102.4	100.0	100.0	100.0	
独自指標	指標の説明 漁業協同組合員が漁業従事した数							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	漁港利用者は、漁業協同組合の組合員減少により減少傾向にあり、また、高齢化が進んでいる。漁港施設の利用の面から安全に利用され、事故などの発生はなく適正に管理がされています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	施設の機能を良好な状態に保つため、定期的な保守点検を実施しています。しかし、3漁港全てが昭和30年から50年頃にかけて改修・改築を行っていることから、施設の耐用年数が迫る、又は過ぎている現状があります。そのため、今後は長寿命化計画を策定し、計画的な補修修繕を実施する必要があります。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	漁港施設管理事業	拡充	漁港の長寿命化を図るために長寿命化計画の策定を行い、計画的な補修・修繕が必要です。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	拡充	方向性の理由	漁港の長寿命化計画の策定は平成32年度内に完了させる必要があります。また、H32年度に計画策定した以降は、計画に従い必要な補修・修繕を行っていきます。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事	業	001	漁港漁場整備事業	中	事	業	06	浅海漁場改善事業
小	事	業	01	浅海漁場改善事業					他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
海岸の漂着物撤去により環境保全を図るとともに、藻場造成による藻場面積の拡大と磯根資源の漁獲量増大を図り、浅海漁業の発展に繋げる。	
【事業の概要】	
○委託料	99 千円
・浅海漁場改善事業等委託料（梶漁港内の漂着物処理）	
○負担金	5,481 千円
（前年度繰越分） 1,009千円	
・水産環境整備事業（藻場造成事業）負担金	
事業内容：ノリ付場補修 A=352㎡（三国町安島）	
（当該年度分）	
・水産環境整備事業（藻場造成事業）負担金 4,472千円	
造成場所：三国町安島 造成面積：0.7ha	
（翌年度繰越）	
・水産環境整備事業（藻場造成事業）負担金 528千円	
内容：モニタリング調査	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	5,580	4,441	1,121	1,139
	人件費	669	1,331	1,208	△ 663
	総事業費	6,249	5,772	2,329	476
人員	正職員	0.10 人	0.19 人	0.18 人	△ 0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.19 人	0.18 人	△ 0.09 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,249	5,772	2,329	476

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	漂着物の処分数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績		1	1	3	1
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	300.0	100.0
独自指標	指標の説明		漁港施設内の漂着物の処分数					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標に基づく評価	漂着物の処理については、利用者である漁業協同組合が実施しているが、人の力では処理しきれない流木などを対象としています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	台風や冬期間の波浪等により漂着物が発生します。漁港施設内に漂着物が漂うことは、施設の破損などの影響があるため早急な対応が求められていますが、漁業者の高齢化や担い手不足による減少などで、今後の維持管理体制が脆弱化していく恐れもあるため、維持管理に支障が出ないような体制の構築が課題です。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	浅海漁場改善事業	継続	地元漁協と協議しながら、藻場造成などの浅海漁場の整備（県営事業）の推進を図ります。また、漁港を利用する漁業者と協力しながら、漁港などの漂着物を適時処理し、利用に支障が出ないよう図ります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	001	漁港漁場整備事業	中	事業	11	小規模漁場保全事業		
小	事業	01	小規模漁場保全事業					他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 「ズワイガニ」「アカガレイ」の生息環境となる漁場の積極的な保全・創造を図るため、海底面を耕うんし活性化することにより、水産資源の持続的利用、安定供給を確保する。

【事業の概要】
 ○委託料 25,500 千円
 ・小規模漁場保全事業委託料
 委託先：三国港機船底曳網漁業協同組合 (単位：千円)

事業実施場所	事業内容	事業費	財源内訳			
			国(1/2)	県(1/4)	市	その他
三国第1漁場	ズワイガニ漁場整備面積 1,267ha	12,972	6,486	3,243	1,946	1,297
三国第2漁場	アカガレイ漁場整備面積 1,310ha	12,528	6,264	3,132	1,503	1,629
合計		25,500	12,750	6,375	3,449	2,926
		補助金計	19,125			

○賃借料 227 千円
 ・検査船借上料

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	25,727	27,659	27,593	△ 1,932
	人件費	669	1,892	1,208	△ 1,223
	総事業費	26,396	29,551	28,801	△ 3,155
人員	正職員	0.10 人	0.27 人	0.18 人	△ 0.17 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.27 人	0.18 人	△ 0.17 人
財源内訳	国県支出金	19,125	20,574	20,523	△ 1,449
	その他特定財源	2,926	2,957	2,913	△ 31
	一般財源	4,345	6,020	5,365	△ 1,675

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	越前がに 水揚げ量	kg	目標					
			実績		57,627	66,721	77,384	85,520
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明		底曳網漁業による漁獲量					
指標	カレイ 水揚量	kg	目標					
			実績		36,495	33,421	30,368	39,360
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明		底曳網漁業による漁獲量					
指標	沖合漁業生産量	t	目標	455	455	455	455	455
			実績		456	446	422	474
			達成率(%)	0.0	100.2	98.0	92.7	104.2
独自指標	指標の説明		底曳網漁業による全体の漁獲量 (水産振興基本計画の成果目標)					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	水揚げ量については、TAC (漁獲可能量制度) に加え自主規制や気温、水温、気象等の自然条件及び漁船数の減少なども影響してきますが、これまでの漁場保全活動の効果により、底曳網漁業の水揚げは増加傾向になっています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	水産物の水揚げは、気温や水温、気象その他の自然条件や、TAC（漁獲可能量制度）等の規制などが影響してくるため、事業効果の評価が難しい面もありますが、近年は底曳網漁業全体での水揚げも増加傾向にあるので、今後も漁場保全を行いながら、水産物の持続的な利用や安定供給を図ります。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	小規模漁場保全事業	継続	今後も、海底耕耘等の漁場整備を行い、水産物の持続的な利用や安定供給を図っていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	051	水産業経営支援事業			中事業	01	水産業経営支援事業		
小事業	01	水産業振興事務事業			02	水産業経営安定事業		他2事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
水産業の近代化、安定化及び不漁・災害時における経営の安定化に資するため、各種融資制度、助成制度による支援を行うことにより、水産業経営の基盤強化を図る。

【事業の概要】

◆水産業振興事務事業

- 報償費（水産振興計画策定委員会委員謝礼 13名分） 132 千円
- 需要費（水産振興計画策定委員会会議用賄） 5 千円
- 委託料（水産振興計画策定業務委託 委託先：(株)水土舎） 2,808 千円
- 補助金（水産業経営安定緊急対策資金利子補給事業費補助金） 88 千円
補助事業者：福井県信用漁業協同組合 件数：3件

◆水産業経営安定事業

- 補助金 11,792 千円
 - ・漁業近代化資金利子補給事業費補助金 437千円
補助事業者：福井県信用漁業協同組合 件数：7件
 - ・漁獲共済加入助成事業費補助金 560千円
補助事業者：三国港機船底曳網漁業協同組合 件数：7件
 - ・漁業用燃油高騰対策事業費補助金 6,034千円
補助事業者：三国港機船底曳網漁協、三国港漁協、雄島漁協
 - ・漁業経営安定支援事業補助金（省工ネ活動推進事業） 4,761千円
補助事業者：三国港機船底曳網漁協、三国港漁協、雄島漁協

◆漁業振興資金融資事業

- 貸付金（漁業振興資金預託金 預託先：福井県信用漁業協同組合） 20,000 千円

◆制度融資利子補給事業

- 補助金（制度融資利子補給金） 450 千円
補助事業者：福井県信用漁業協同組合 件数：13件

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■新規漁業就業者支援
----------	------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	35,275	27,791	28,322	7,484
	人件費	3,276	1,121	873	2,155
	総事業費	38,551	28,912	29,195	9,639
人員	正職員	0.49 人	0.16 人	0.13 人	0.33 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.49 人	0.16 人	0.13 人	0.33 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	20,000	20,000	0	0
	一般財源	18,551	8,912	29,195	9,639

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	漁業経営の貸付利子補給	件	目標		23	18	17	23
			実績		23	18	17	23
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明	利子補給の対象となった件数						
独自指標	新規就業者支援	件	目標	3	3	3	3	3
			実績		0	0	1	0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
指標	指標の説明	新規就業者支援の対象となった件数						
独自指標	燃油高騰対策	件	目標		36	34	40	40
			実績		36	34	40	40
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明	漁業燃油補助対象者で補助申請した経営体数						
独自指標	漁業共済加入	件	目標	7	7	7	7	7
			実績		7	7	7	7
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明	漁業共済加入のうち支援の対象となった件数						
指標に基づく評価	各種漁業経営に関する支援により効果があると考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	漁業者の高齢化が課題となっているが、特に採貝採藻漁を営む海女の平均年齢は70歳代と超高齢化が進んでいるため、早急な新規就漁対策が必須となっています。		
これまでの見直しや改善等の実績	平成30年度より漁船の省エネルギー化を推進し経常経費削減に繋げるため、船底清掃活動支援事業を実施しました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	水産業振興事務事業	継続	H30年度に策定した水産振興基本計画を基に、順次振興策の検討・実施を行い、水産業の振興を図ります。
	水産業経営安定事業	拡充	今後も安定した漁家経営を行えるよう、各種補助事業を実施します。
	漁業振興資金融資事業	継続	漁業協同組合に融資を行うための資金を預託機関へ預託します。
	制度融資利子補給事業	継続	漁業協同組合の金利負担軽減を図ることを目的として、融資を受けた資金に係る利子の補給を行います。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	拡充	方向性の理由	海女に新規で就業する人のための新たな補助を行っていきたいと考えています。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	拡充		
目標年度 令和5年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-1	農林水産業の振興
	施策項目	(3) 新たな担い手の確保、育成				
実施事業名 (小事業)	水産業経営安定事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>■新規漁業就業者支援</p> <p>① 海女への新規就業支援 に関する気づき</p> <p>現状、海女の収益だけでは生活が成り立ちません。海女漁は天気の影響を受けやすく、漁期が年中ではないため、収入が不安定だからです。海女1年目は水産カレッジという研修を受けることで一定の収入を得ることができですが、研修後、海女を続けていくためには漁以外での収入源が必要です。そのため、安定した収入を得るための仕組み作りが課題となります。</p> <p>一方、少子化や人口減少によって、人手不足の企業は少なくありません。そこで、安定した収入を求める海女と人手不足の企業をマッチングさせる仕組みづくりを構築し、業種を超えてお互いが人手不足を補い合う環境を整えていければ、これからの人口減少社会においても海女文化を残していくことが可能ではないかと思えます。</p>					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	06	栽培漁業自立支援事業		
小事業	01	栽培漁業自立支援事業							他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
栽培漁業を支援することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁獲資源の回復を図り、資源の持続的な活用による中核的漁業者の育成及び漁業後継者の確保を図る。

【事業の概要】
○補助金 2,129 千円
・栽培漁業自立支援事業補助金

(単位：千円)

事業実施主体	事業内容	補助対象事業費	補助金額	内訳		
				市	その他	事業主体
三国港漁業協同組合	種苗放流事業 マダイ 15,000尾 ヒラメ 26,000尾 キジハタ 2,000尾	2,521	1,430	1,090	340	1,091
雄島漁業協同組合	稚貝育成放流事業 アワビ 37,000個	2,078	1,039	1,039	-	1,039
計		4,599	2,469	2,129	340	2,130

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	2,129	2,208	2,189	△ 79
	人件費	1,337	1,331	1,343	6
	総事業費	3,466	3,539	3,532	△ 73
人員	正職員	0.20 人	0.19 人	0.20 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.19 人	0.20 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,466	3,539	3,532	△ 73

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	アワビ放流数	個	目標	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000
			実績		37,000	37,000	37,000	23,000
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	62.2
指標の説明		アワビ稚貝の放流数						
指標	ヒラメ放流数	尾	目標	26,000	26,000	26,000	30,000	31,000
			実績		26,000	26,000	30,000	31,000
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		ヒラメ稚魚の放流数						
指標	マダイ放流数	尾	目標	15,000	15,000	15,000	17,000	17,000
			実績		15,000	15,000	17,000	17,000
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		マダイ稚魚の放流数						
指標	キジハタ放流数	尾	目標	2,000	2,000	2,000		
			実績		2,000	2,000		
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
指標の説明		キジハタ稚魚の放流数						
指標に基づく評価	放流した種苗全てが生育し水揚げされるわけではないが、毎年計画に沿って放流することにより、漁獲資源の維持・増加が図れ、水揚げ量を確保することに繋がっております。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			種苗の生育や生存、また成長した放流漁の水揚げについては、海中の環境や気象など色々な面で影響を受けるので、育ちやすく増えやすい魚種や放流先に適合しやすい種類などの選定が重要になってくると思います。
これまでの見直しや改善等の実績	水揚げ量、気温、水温、気象等の自然条件から総合的に判断して、次年度以降の種苗放流、稚貝放流の種類及び量について各漁協と協議し、適切な放流計画を立てました。また、各漁協や県と協議し、平成29年度よりキジハタの試験放流も開始しました。			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	栽培漁業自立支援事業	継続	漁業者と協議しながら、必要な種苗の育成・放流を続けます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	101	水産業振興事業	中	事業	16	越前がにブランド化事業		
小	事業	01	越前がにブランド化事業						他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有			林業水産振興課所管補助金交付要綱	
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	坂井市の貴重な水産資源である「越前がに」の高付加価値化に取り組むことにより、水産振興を図る。
【事業の概要】	○補助金 1,000 千円 ・越前がにブランド化事業費補助金 事業実施主体：三国港機船底曳網漁業協同組合 事業内容：ズワイガニにつける産地表示用タグ（GI）8万個の作成補助 補助対象事業費：2,430千円 補助金（市1／2以内）：1,000千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■越前がにのブランド化
----------	-------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	1,000	1,399	999	△ 399
	人件費	735	771	1,007	△ 35
	総事業費	1,735	2,170	2,006	△ 434
人員	正職員	0.11 人	0.11 人	0.15 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.11 人	0.11 人	0.15 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,735	2,170	2,006	△ 434

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	タグ製作数量	目標	10	10	10	10	10
			実績		8	10	10	10
			達成率(%)	0.0	80.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		タグの作成数量						
指標	独自指標	漁業経営体数	経営	目標	9	9	9	10
			実績		9	9	9	10
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		三国港機船底曳網漁業協同組合の経営体数						
指標	独自指標	漁業従事者数	目標	59	58	58	58	62
			実績		59	58	58	62
			達成率(%)	0.0	101.7	100.0	100.0	100.0
指標の説明		底曳網船の乗組員の数						
指標	独自指標	越前がに 水揚げ量	kg	目標				
			実績		57,627	66,721	77,384	85,520
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		越前ガニの水揚げ量						
指標に基づく評価		越前がにの水揚げ量は減少しているが、ブランド化により付加価値を高め、魚価向上に寄与しています。また、GIタグへの切り替えにより、それまでのタグの在庫を使い切るため、H30年は8万個に抑えることとなりましたが、GI制度に登録された事により、一層付加価値が高まっています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			他産地との差別化を図り、三国産の越前ガニの付加価値を高めるためにもブランド化は必要ですが、全ての越前がにの価格が高騰しすぎることは避けなければならないと考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	国の地理的表示（GI）保護制度登録による「GIタグ」の導入や、三国独自のブランドである「献上品質タグ」の金型作成など、付加価値を高められるよう取り組んできています。			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください		
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容	
	越前がにブランド化事業	継続	今後も、GIタグなどを活用しながら、三国産の越前ガニブランドが全国に浸透し、付加価値が上がるよう寄与していきます。	

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-1	農林水産業の振興
	施策項目	(2) 農林水産物のブランド化				
実施事業名 (小事業)	越前がにブランド化事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>●越前がにブランド化事業</p> <p>①付加価値向上に関する気づき</p> <p>越前がにには、平成30年度に国の地理的表示（GI）保護制度に登録されたことで、三国港で水揚げされる越前がににもGIタグが付き、付加化価値が高まってきました。</p> <p>また、平成27年度から県主体で導入された「極ブランド」や、三国で独自設定している「献上品質ブランド」（三国魚商協同組合が行っている皇室献上に準ずる規格のカニ）も、それぞれ専用のタグをつけ、付加価値向上に一役買っています。</p> <p>しかし、「越前がに」自体の知名度は高いものの、「三国産」という部分や各種ブランドの知名度はまだ全国的に浸透しておらず、これからも観光サイドと連携しながら各種PR活動などを通し、引き続き認知度を高めていく必要があると思います。</p> <p>なお、前述のような各種取り組みによる付加価値向上により、魚価自体は上がってきていますが、その反面、価格の高騰から一般市民の地元消費が減ってきている面もあり、今後付加価値の向上によりさらに価格が高騰すると、越前がにの産地なのに、地元市民は食べられないというような問題も生じることが予想されるので、地元消費の仕組みづくりも重要になるのではと思います。</p>					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	26	三国港内夜間安全確保事業		
小事業	01	三国港内夜間安全確保事業							他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	720	720	720	0
	人件費	735	841	1,007	△ 105
	総事業費	1,455	1,561	1,727	△ 105
人員	正職員	0.11 人	0.12 人	0.15 人	△ 0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.11 人	0.12 人	0.15 人	△ 0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,455	1,561	1,727	△ 105

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 三国港内の投光機の照明により、漁業者、観光客等の安全を確保するとともに、三国港のイメージアップを図る。
【事業の概要】 ○補助金 720 千円 ・三国港内投光機使用料補助金 事業実施主体：三国港機船底曳網漁業協同組合 事業内容：三国港内に設置されている投光機の電気料に対する補助（9箇所） 補助対象事業費：1,888千円 補助金（市費 1/2以内） 720千円（限度額）

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	漁業者及び観光客等の転落事故	回	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		三国港地区内における転落事故の発生回数						
指標 独自指標	航路内の船舶事故	回	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		三国港地区の航路内での船舶事故の発生回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	投光機により事故などが無く安全性が認められます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			投光機のLED化更新を随時行っていますが、全ての更新は未了です。電気使用量の削減にも寄与するため更新を推進する必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績	投光機の現状を確認し、転落事故防止に必要な数量を検討しました。			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください		
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容	
	三国港内夜間安全確保事業	継続	市場や港も観光資源であることから、利用している漁業者だけでなく、観光客に対しても安全に利用・見学ができるよう、今後も本事業を継続していきます。	

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	31	漁業関係種苗中間育成施設管理事業		
小事業	01	漁業関係種苗中間育成施設管理事業							他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		嶺北地域栽培漁業推進協議会 中間育成施設管理規約		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	500	500	500	0
	人件費	1,070	981	1,343	89
	総事業費	1,570	1,481	1,843	89
人員	正職員	0.16 人	0.14 人	0.20 人	0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.14 人	0.20 人	0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,570	1,481	1,843	89

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 嶺北地域栽培漁業推進協議会が設置する中間育成施設の維持管理に要する経費を負担することにより、栽培漁業の一層の地域定着化と拡大を図る。

【事業の概要】

- 負担金 500 千円
- ・嶺北地域栽培漁業推進協議会負担金
 - 負担市町村：4市町（坂井市、福井市、越前町、南越前町）
 - 負担金額： 協議会活動費 1,200千円×1/4×1/3=100千円
 （坂井市1/3と三国栽培協2/3で分担負担）
 - 協議会運営費 1,200千円×1/4=300千円
 - 維持管理費 400千円×1/4=100千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	協議会加入団体	団体	目標	4	4	4	4	4
			実績		4	4	4	4
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		協議会加入団体：坂井市、福井市、越前町、南越前町						
指標	中間育成（ヒラメ）坂井市分	尾	目標	26,000	26,000	26,000	30,000	31,000
			実績		26,000	26,000	30,000	31,000
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		中間育成を行ったヒラメの尾数						
指標	中間育成（アワビ）坂井市分	個	目標	37,000	37,000	37,000	37,000	23,000
			実績		37,000	37,000	37,000	23,000
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		中間育成を行ったアワビの個数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		放流費用に係る費用について、共同運用実施することは放流単価を低減させることができることから効果があります。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	ヒラメの中間育成事業の終了や中間育成施設の老朽化に伴い、関係市町や関係漁協などと協議し、今後の中間育成事業についての計画を作成する必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	中間育成施設の有効利用や、育成内容（対象）等について、事務局会議で検討を行っています。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	漁業関係種苗中間育成施設管理事業	改善（見直し）	中間育成の魚種や施設改修問題等、関係市町や団体（漁協）と協議を進めながら、栽培漁業の継続実施と定着を図ります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	方向性の理由	現在実施しているヒラメ種苗の中間育成事業がH31年度を持って終了するため、以降の中間育成事業について、実施の有無や対象魚種の選定、中間育成施設の改修や解体撤去など事業全体の見直しが必要となってくるので、協議会などの場で今後事業内容の見直しを行います。
目標年度	令和元年度			
中長期的な方向性		継続		
目標年度	令和5年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	36	内水面漁業振興事業		
小事業	01	内水面漁業振興事業							他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 内水面漁業資源の増大を図るため、組織的な種苗生息環境整備等を行い、良好な漁場環境保全と内水面漁業振興に資する。</p> <p>【事業の概要】 ○補助金 90 千円 ・竹田川漁業協同組合活動事業補助金 事業実施主体：竹田川漁業協同組合 事業内容：放流事業 5月29日 アユ稚魚 95kg 10月23日 イワナ稚魚 20kg 10月23日 ヤマメ稚魚 20kg 漁場環境整備及び監視事業 補助事業に要する経費：910千円 補助金（市費 1/2） 90千円（限度額）</p>
--

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	90	90	4,225	0
	人件費	669	841	1,007	△ 172
	総事業費	759	931	5,232	△ 172
人員	正職員	0.10 人	0.12 人	0.15 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.12 人	0.15 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	759	931	5,232	△ 172

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	漁場維持管理（草刈、巡回監視）	日	目標		88	83	80	78
			実績		88	83	80	78
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		竹田川漁業協同組合が実施した日数						
指標 独自指標	放流事業（アユ）	kg	目標	100	100	100	95	95
			実績		95	100	95	95
		達成率(%)	0.0	95.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標 独自指標	放流事業（ヤマメ）	kg	目標	30	30	30	30	40
			実績		20	30	30	40
		達成率(%)	0.0	66.7	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標 独自指標	放流事業（イワナ）	kg	目標	25	25	25	25	35
			実績		20	25	25	35
		達成率(%)	0.0	80.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標に基づく評価	漁業協同組合が漁場を維持管理することで、環境美化に寄与している。また、自然豊かな環境で遊漁できることは、観光客誘致などにも寄与している。遊漁者が多く訪れる条件としては、自然環境に加え多く魚が生息している必要があるため、放流事業も効果が認められます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 組合活動経費に制限があることから満足できる放流量が実施できていません。
これまでの見直しや改善等の実績	

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	内水面漁業振興事業	継続	淡水魚の放流事業を通して児童に竹田川の生態系、遊漁の楽しさを教育するとともに、漁場の監視や整備を行います。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	41	漁場生産基盤整備事業		
小事業	01	漁場生産基盤整備事業						他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	22,356	0	0	22,356
	人件費	1,538			1,538
	総事業費	23,894	0	0	23,894
人員	正職員	0.23 人			0.23 人
	臨時職員	0.00 人			0.00 人
	人員計	0.23 人	0.00 人	0.00 人	0.23 人
財源内訳	国県支出金	17,388	0	0	17,388
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,506	0	0	6,506

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 水産業の振興を中心とした地域の活性化を図ることを目的として、加工作業所、地域水産物普及施設、地域資源の付加価値創造を図るための施設整備等を支援する。</p>
<p>【事業の概要】 ○補助金 22,356 千円 ・漁港水産物加工施設整備事業費補助金 事業実施主体：雄島漁業協同組合 施設整備場所：三国町安島（安島漁港内） 構造・規模：木造瓦葺平屋建 49.68㎡ 補助対象事業費：24,840千円 負担割合：国50%、県20%、市20%、事業主体10%</p>

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	利用人数	人	目標	3,200			
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		施設の見学・購買者の数（事業計画における成果目標）						
指標	独自指標	もみわかめ販売額	千円	目標	3,645			
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		雄島漁協が販売したモミワカメの販売額（事業計画における成果目標）						
指標	独自指標	塩ウニ販売額	千円	目標	7,290			
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		雄島漁協が販売した塩ウニの販売額（事業計画における成果目標）						
指標				目標				
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		平成31年4月より供用を開始したため過年度の成果がありませんが、計画に記載した成果目標を独自指標として評価指標にしています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	地元の漁業、特に県の無形民俗文化財になっている海女漁を中心に地域の活性化を図り、また、集荷・加工等を集約してすることで漁業者の負担を軽減し、後継者不足にも繋げていきます。		
これまでの見直しや改善等の実績	特になし		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	漁場生産基盤整備事業	完了	平成31年4月より供用を開始します。今後は、事業主体である雄島漁業組合の管理のもと、地域の活性化や水揚げされた水産物の付加価値が高まるよう、運用していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		完了	方向性の理由	平成31年4月より供用を開始します。今後は、事業主体である雄島漁業組合の管理のもと、地域の活性化や水揚げされた水産物の付加価値が高まるよう、運用していきます。
目標年度	平成30年度			
中長期的な方向性				
目標年度				

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-1	農林水産業の振興
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事	業	101	水産業振興事業	中	事	業	56	水産業振興イベント事業
小	事	業	01	三国市場さかな祭事業					他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 坂井市で水揚げされた低利用の水産物について「底曳、一本釣り、浅海」の漁業関係者が主体となって実施する、低利用水産物の販売促進を目的としたイベントの開催を支援する。</p>
<p>【事業の概要】 ○補助金 500 千円 ・三国市場さかな祭事業補助金 事業実施主体：三国市場さかな祭実行委員会 事業内容：さかな祭りの開催（9月9日） 補助対象事業費：1,025千円 補助金（市費1／2以内）</p>

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■三国市場さかな祭り
----------	------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	500	439	500	61
	人件費	1,203	1,051	1,343	152
	総事業費	1,703	1,490	1,843	213
人員	正職員	0.18 人	0.15 人	0.20 人	0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.15 人	0.20 人	0.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,703	1,490	1,843	213

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	イベント来場者数	人	目標	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績		2,300	2,500	2,500	2,500
			達成率(%)	0.0	92.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標	イベント出店数	店	目標	10	10	10	9	9
			実績		11	10	9	9
			達成率(%)	0.0	110.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	毎年、年1回実施している「三国市場さかな祭」の来場者も多く地元産の水産物のPRや魚食普及などに効果があります。平成30年度においては、当日雨天の影響により客足が伸びなかったものと思われま。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	出店者がイベントに慣れていないため、販売数量の見込みが合わない場合があります。また、三国市場で実施するため来場者駐車場に限られるため、近隣駐車場の有効活用や公共交通機関の利用促進を図る必要があります。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	水産業振興イベント事業	継続	魚食普及のために坂井市で獲れた魚を直接消費者に販売するイベントを行います。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-1	農林水産業の振興
	施策項目	(11) 全国規模の集客イベント誘致				
実施事業名 (小事業)	三国市場さかな祭事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>■三国市場さかな祭り</p> <p>①当日の甘えびのPRに関する気づき</p> <p>三国の甘えびを知ってもらうには、多くの人の手に甘えびを行き渡らせることが必要と考え、新鮮で安い甘えびを詰め放題で提供しました。また、甘えびは様々な料理にも活用できることを知ってもらうために、すりつぶした甘えびを使った甘えびはんぺんなどの加工品の試食も提供しました。しかし、甘えび詰め放題に参加した人々の多くは、一番手間のかからない刺身で食べたと予想されますが、更なる甘えびの需要を拡大するには、普段家庭でよく食されるメニューに甘えびを加えるだけで、より一層美味しくなり、かつ簡単に作れるメニューを開発し、このようなイベントを通じてレシピを配布することが有効な手段ではないかと思えます。甘えびの販売促進のためには、多種多様なアプローチで広めていくことが必要だと思えます。</p>					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	201	水産多面的機能発揮対策事業			中事業	01	水産多面的機能発揮対策事業		
小事業	01	水産多面的機能発揮対策事業							他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	2,384	2,506	2,576	△ 122
	人件費	2,875	1,752	1,343	1,123
	総事業費	5,259	4,258	3,919	1,001
人員	正職員	0.43 人	0.25 人	0.20 人	0.18 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.43 人	0.25 人	0.20 人	0.18 人
財源内訳	国県支出金	221	189	260	32
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,038	4,069	3,659	969

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
水産業の再生・漁村の活性化を図るため地域協議会を設置し、水産業・漁村の多面的機能の効果的・効率的な発揮に資する地域の取り組みに対し支援する。

【事業の概要】

- 旅費 76 千円
 - ・特別旅費 水産多面的事業講習会参加
- 需用費 145 千円
 - ・消耗品費 活動組織の指導等確認事務を実施
- 負担金 2,163 千円
 - ・福井県水産多面的機能発揮対策地域協議会負担金
負担割合：国70%、県15%、市15%

(単位：千円)

組織名	地区名	交付金額	うち市負担金額
安島マリンプロジェクト	三国町安島	4,312	647
崎生態系保全活動グループ	三国町崎	3,100	465
梶生態系保全活動グループ	三国町梶	2,242	336
米ヶ脇里海を守る会	三国町米ヶ脇	3,823	574
浜地里海を育てる会	三国町浜地	942	141
合計（5組織）		14,419	2,163

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	活動組織	組織	目標	6	5	5	5	5
			実績		5	5	5	5
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明								
指標	活動組織が実施する事業対象面積	ha	目標	23	23	23	23	23
			実績		23	23	23	23
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	漁業者が中心となり地域活動として、藻場の保全や漂着物の処理を実施している。漁業者以外の方にも多面的機能の必要性を共有することができ、地域として保全活動が実施できています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	水産業・漁村の多面的機能の効果的な発揮に資する地域の取り組みに対し支援を行うことで、藻場の保全や海岸美化につながっています。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	水産多面的機能発揮対策事業	継続	藻場の保全のために岩おこしやヒトデの駆除などを行います。また、海洋汚染の原因となる漂流、漂着物等の処理として海岸清掃等を行います。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					